

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date		2025 年 09 月 18 日(YYYY /MM/ DD)	
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	人間社会科学研 究科	学部/研究科 School/Graduate School	2 年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	☒ HUSA ☐ USAC		
留学先大学 Host University	シェフィールド大学 (国名/Country：イギリス)		
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	ELTC (English Learning Teaching Centre)		
在籍身分 Status at Host University	大学生 (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)		
留学期間 Period of Program	2025 年 09 月 15 日 ~ 2025 年 07 月 12 日 (YYYY /MM/ DD) (YYYY /MM/ DD)		

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	研究対象がイギリスの学校教育だったため、イギリスに留学することを決めました。 イギリスの学生という身分を持っていた方がフィールドワークをしやすそうだったた め、交換留学にしました。交換留学先の地域では、自身が研究することが盛んにおこ なわれていそうだったため、派遣先大学を希望しました。
留学準備を始めた時期（応募す る何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	応募する6か月前
事前準備について(どのような準 備をしたか、しておけばよかった か) Preparation Completed Prior to Study Abroad	英語の勉強と研究フィールドの理解をするための勉強を行いました。また、アルバイト をしてお金を貯めました。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type：学生ビザ ビザ申請先 / Location of Visa Application：VFS Global 提出書類 / Required Documents：CAS 手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process：20 日		
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	ビザを申請するにあたって、イギリスの国民健康保険の加入もしました。		
出国年月日/ Date of Departure	2024 年 09 月 15 日 (YYYY /MM/ DD)		
経路（往路）/ Route (Outward)	成田空港→アブダビ空港→マンチェスター空港→シェフィールド大学		
現地での出迎え Pick-up Service	☒ 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) ☐ 無/No		
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容	☒ 有 /Yes	有の場合 期間/Period： 16/09/2024 - 20/09/2024 (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation	

Orientation, Period, Contents	☐ 無/No	留学生向けのオリエンテーションイベントが開催されているので、興味のあるものに参加する。
帰国年月日 / Date of Return	2025 年 07 月 12 日 (YYYY /MM/ DD)	
経路（復路） / Route (Return)	シェフィールド→マンチェスター空港→ヘルシンキ空港→羽田空港	

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount		3543239	円/yen
	内訳 Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	395239	円/yen
		ビザ申請手数料 / Visa Application Charge	250000	円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge	0	円/yen
		保険料 / Travel Insurance	100000	円/yen
		教材費（授業料以外の学費） / Learning Material (Extra Tuition Fee)	0	円/yen
		宿舍費（住居費） / Accommodation Fee	1280000	円/yen
		光熱費 / Utility Cost	0	円/yen
		食費 / Meal Cost	300000	円/yen
		通信費（インターネット・携帯） / Internet, Phone	18000	円/yen
		交通費（宿舍～大学間） / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	0	円/yen
		交際費 / Social Expenses	1200000	円/yen
		その他 / Others (費)		円/yen
		(費)		円/yen
		(費)		円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について（カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等） / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	以下のELTCと音楽学部の授業を履修しました。 Composition English Language and Culture (News Media) English for Academic Purposes (Reading and Writing) English for Academic Purposes (Speaking and Listening) English as a Foreign Language (Upper-intermediate 1) Understanding University Culture through Language English Language and Culture (Technology) Folk Music Participation Music and Wellbeing
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	☐ 有/Yes ☒ 無/No
授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修、留学中、単位取得等） / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	最初は、英語がなかなか聞き取れなくて、大変だと思いますが、だいたいの授業は録画されているので、録画を見ることで復習することができます。 ELTCの授業は教養科目のような感じなので、なじみのない分野でも勉強しやすかったです。 授業の履修に関しては、自分の語学スコアが足りていない授業でも、その分野での自分のバックグラウンドを国際課に話して、先生の許可を得られ

	ば、授業を履修を変更することができます。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）/ Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	宿題をやっていくことが前提で授業が進められていくので、宿題は必ず行った方がよいです。 先生たちは、質問をすると、必ず答えてくれます。どの先生も親切で、学生に対して優しいです。勉強を頑張って先生と仲良くなったからか、シンポジウムやプロジェクトへの招待もありました。

5. 生活等について / Lifestyle

(1) 留学先の住居について / Accommodation

住居の種類 Type of Accommodation	☒ 大学の寮 / University Dormitory ☐ アパート / Apartment ☐ その他 / Others ()		
住居の広さ Size of the Room	約/approximately ? m ²	同居人の有無 Roommate(s)? 一人部屋でしたが、8人で一つのキッチンシェアしていました。	☐ 有 / Yes (人/People) ☒ 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	☒ 電気/ Electricity ☐ ガス/ Gas ☒ 水道/ Water ☒ 給湯/ Hot Water ☒ シャワー/ Shower ☐ 風呂/ Bathtub ☒ 水洗便所/ Flushable Toilet ☒ 暖房/ Heating ☐ 冷房/ Cooling ☒ 台 所/ Kitchen ☐ 食堂/ Dining Room ☐ 固定電話/ Land-Line Phone ☒ インターネット/ Internet ☒ その他/ Others (Common Room)		
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month £795 (現地通貨/ local currency)		約 approximately 1280000 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	私は、日本に恋人を置いてきた状態だったため、彼を安心させるために、女子限定のフラットを選択しました。家事が得意な子が多かったので、共同キッチンが常にきれいな状態に保たれており、快適に過ごすことができました。パジャマ状態で共同のキッチンに行くこともできるので、とても楽でした。共同の洗濯機は洗浄力が強いので、洗濯ネットをもっていくとよいです。洗浄力が強すぎて、一箇壊れたので、複数個持っていくとよいと思います。 https://sheffield.ac.uk/accommodation/st-vincents		
(2) 医療について / Medical Care			
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	☒ 本学指定の保険 / Hiroshima University ☐ 留学先大学指定の保険 / Host University ☒ その他 / Others (イギリスの国民健康保険)		
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 10000000 円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others ()		

留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	☐ 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : _____ , _____) 医療機関名 / Location of Immunization : _____) ☒ 無 / No
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	基本的には、予約がないと診察をしてもらえません。しかも、予約できるのは、2週間後とかです。予約時間ぎりぎりに行くとみてもらえないこともあります。 ただ、ウォークインというタイプのNHSの病院があれば、予約なしで診てもらえます。軽い症状であれば、診察費や検査費は保険で全額賄われます。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	春になるまでの間に、風邪が流行ります。日本よりも手ごわいので、風邪をひいたと思ったら治すのに専念するとよいです。イギリスの風邪薬はとても強いので、私は少し量を減らして服用しました。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	
シェフィールド内は、比較的安全ですが、シェフィールドを出ると盗難にあった被害をよく聞きました。旅に出るときは、事前に危険地域をネットで調べたり、トビタテ生から情報を聞いたりしていました。	
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
Lidl や Aldi といった格安スーパーをよく利用していました。郊外には格安スーパーがないので、都市部の寮を選んで、大量にスーパーで食材を買いこんで、調理するのも一つの節約術だと思います。お刺身が食べたいときは、コストコに行き、大きなサーモンを買い、柵にして食べていました。スーパーでも生食用のサーモンは売っていますが、これが一番安いです。また、コストコには、冷凍の竜田揚げ等日本の食材もたくさん売っているので、日本でカードを作っていくとよいと思います。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
冬は、日本と同じくらい冷え込みますが、夏は、ゴールデンウィークくらいの気候です。ただ、一年中乾燥しているので、保湿クリームは必須だと思います。Lidl の Q10 配合のクリームがコスパがよく、ずっと使っていました。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む) / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
私は、St.Vincent という都市部の大学寮に入っていました。授業は、ELTC と音楽学部での授業をとっていたので、主にその二つの学部の建物を使っていました。 施設や設備について、不満はないですが、大学寮では、頻繁に火災警報器が鳴るので、一年で避難能力がつかしました。学生が入居した直後の9月10日は、一週間に一回は必ず鳴っていました。鳴る原因は、室内でのたばこや調理器具の使用です。幸い、私が住んでいた寮では、家事は起こりませんでしたが、他のプライベート寮では、家事が起こったので、火災警報器が鳴ったら何回目でも何十回目でも避難した方がよいです。火災警報器は各部屋についていますが、とてもうるさいので、耳栓をつけて避難すると快適に避難できます。冬場は冷え込むので、ダウンを着ていくとよいです。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?) / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
授業をうけている際に、現地の学生と一緒にワークをしたりしました。また、大学のアイリッシュダンスサークルに入っていたので、そこでも現地の学生と交流がありました。女子が多かったので、恋ハネをよくしていました。また、イギリス版の人狼のようなものもしました。地域との交流に関しては、私は、フィールドワークを行っていたので、音楽ハブという音楽の地区センターや小中学校で子供たちや先生方などの人々と交流を深めました。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	

日本人と同じように、基本的に親切です。ただ、本当に心を開いてくれるまでには、多少時間が必要です。心を開いてもらうには、自分の考えを話したり、積極的にかかわったりすることが必要です。もてなされるときに、コーヒーと紅茶どっちが良いか聞かれますが、「紅茶」と答えると喜ばれます。 イギリスでは、ごはん問題がよく挙げられていますが、レストランではホールの店員さんによく感想を聞かれます。どんな表現しがたい味だとしても、素晴らしいと答えるのが無難です。
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?
大学寮には布団や枕がついていないので、それらを持っていくと一日目から快適に寝ることができます。 また、包丁も現地で買うには、年齢制限があるので、持っていくと便利でしょう。 電子レンジでごはんを炊く器具はとても重宝しました。
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad
公共交通機関はよく遅延するので、もし旅行をたくさんしたいのであれば、すぐに帰宅できる都市部に住むことをおすすめします。 また、ヨーロッパを発着する飛行機は、よくキャンセルや遅延があるのですが、それらに対応する補償が法律で決められているので、補償制度を使うとお金がもらえたり、ホテルに無料で泊まられたりします。

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad	
卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2026 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2026 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	☐ 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year ☐ 単位不足のため / Amount of Credits ☐ 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate ☐ その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	修士論文執筆のための準備をしています。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	専修免許状取得のための単位については、すべて取り終えた状態で留学をしました。教員就職を考えていたので、教員採用試験を受け、合格をもらったうえで、留学をしました。合格をいただいた横浜市教育委員会には、研究留学のための特別な許可をいただきました。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad		
書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL 等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
ガクシー	https://gaxi.jp/	留学奨学金にかんする情報を集めていました。

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

留学は準備の段階から大変なことがたくさん起こります。

もうすでに壁を感じているかもしれませんが、あきらめずに、いろいろな人に相談するとどこかで、解決策が見えてきます。

私自身、志望していた大学の受け入れが私の年度からなくなってしまい、一時は途方に暮れていました。ですが、他の大学への交渉等を自分で行ってみたり、周囲の人に相談したりしていくうちに、シェフィールド大学にたどり着くことができました。シェフィールドでは、たくさんのかげがえのない出会いがあったので、シェフィールドに行けてよかったなと思っています。

自分であきらめずに、周囲の助けも借りながら、いろいろなことに挑戦していきましょう。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

- 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:
 - ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
 - ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
 - ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
 - ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか(将来のキャリアパスも含めて) / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?
- 写真を2〜3枚程度、貼り付けてください(写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい)。
Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo).

私は、音楽教育の研究のため、イギリスへ行きました。今、振り返ると、大変だったものの、日本では学べないようなたくさんの方の事を学び、さまざまな価値観に触れることができ、ものの見方や考え方が広がりました。また、海外での研究ははじめてだったのですが、フィールドをつくることからインタビューまで、なんとか終わることができ、研究者として成長した気がします。

留学当初、学校教育に関わっている学校外部の音楽組織、「音楽ハブ」の研究を行うため、まず、音楽ハブの研究協力を取り付ける必要がありました。最初の壁は、シェフィールドの音楽組織に研究力をしてもらえるようにすることでした。渡航前からメールを送っていましたが、なかなか返事が返ってきませんでした。シェフィールド大学の音楽教育の先生に相談したところ、「よくシェフィールド大学の研究に協力してくれているから大丈夫だと思うけど、渡航後にもう一度メールを送ってみて。」と言われました。アドバイス通り、メールを送ってみると、オフィスにくるように言われ、渡航から一週間後に研究協力の交渉に向かいました。拙い英語でつくった履歴書を手にし、オフィスへ向かい、自分のやりたいことを説明しました。その結果、ボランティアとして協力することを条件に、研究に協力してもらえることを取り付けました。このことは私にとって、留学中の出来事の中で一番大切に、生涯忘れない出来事です。

大学の学期が始まると、研究と大学の両立で忙しくなりました。ですが、大学で習ったことと音楽ハブでのフィールドワークで観察したことがつながる瞬間が何度もあり、両方の生活が私にとって欠かせないものとなっていました。音楽ハブの活動は、子どもや若者を対象としていることから、放課後に行われることが多かったので、大学が終わった後に、音楽ハブでフィールドワークを行っていました。音楽ハブが小中学校で何かする場合は、大学はお休みをもらって昼間にフィールドワークに行き、帰宅後に録画機能を使って大学の授業を家で受けました。また、私はトビタテ！留学 JAPAN から奨学金をもらって留学をしていたので、日本の良さを広める活動として、茶道のワークショップと日本民謡のワークショップも開催しました。いろいろな人のサポートがあって、なんとか無事にワークショップを終えることができましたが、英語を使って、専門的な内容を短時間で教えることは初めてで、課題がたくさん見つかりました。

今回の留学では、音楽ハブが学校の音楽教育へ大きな役割をもっていることが調査によって明らかになりました。この研究結果は、日本で公表される予定ですが、英語で論文を書くことによってイギリスの音楽教育のウェブサイトでも共有される予定です。また、私自身、次の春から学校で音楽教員として働く予定なので、研究結果や留学中に見てきた音楽教育の方法を日本の音楽教育に応用させて、子ども達に質の高い音楽教育を届けたいと思っています。







注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、留学交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。 / This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by Global Exchange Group.

